

中学校第2学年 道徳科 学習構想案

日 時 令和6年11月21日(木)
場 所 学習ルーム
指導者 教諭 矢野 志織

1 学習構想案

主題名	勤労から得られるものとは (内容項目C(13)勤労)	
ねらいと教材	(1) ねらい 霧多布にとどまって診察を続ける決心をした道下医師の生き方に共感することを通して、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする意欲を育てる。 (2) 教材名 我、ここに生きる 出典：「新しい道徳2 (東京書籍)」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	道下医師の葛藤や決心に共感し、話し合うことを通して、勤労の意義や尊さについて多面的・多角的に考えている。	勤労を通して社会に貢献することの大切さを理解し、自らの生き方について考えを深めている。
目指す生徒の姿		
対話を通して、勤労による社会貢献に伴う喜びが自分の充実感につながることに気付くことができる生徒		
主題に迫る学習課題 (本時)	本主題で働かせる見方・考え方	
人は何のために働くのか	勤労の意義や尊さについて多面的・多角的に考え、自分との関わりで考えながら、自らの生き方に考えを深めていくこと	
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
各教科等	道徳科	体験活動等
<p>【英語】Work Experience 職場体験や働くことの大切さについて話す活動を通して、他者のために働くことの重要性について理解を深める。</p> <p>【学活】進路学習 高校進学までの流れを知ること、これからの学習について見通しをもつ。</p>	<p>「我、ここに生きる」(本時) C(13)勤労</p> <p>主題名 勤労から得られるものとは</p> <hr style="width: 50%; margin: 10px auto;"/> <p>「宇宙人」 C(13)勤労</p> <p>主題名 将来の自分を見つめよう</p>	<p>【寒漬大根づくり】1年時 寒漬大根づくりを体験することによって、地域の人々の思いを感じ取り、農業の大切さや大変さを学ぶ。</p> <p>【職場体験学習】 津奈木町の職業を体験することによって、くことのやりがいや大変さを理解する。</p> <p>【キャリアガイダンス】 津奈木町出身の方々から働くことについてのお話を聞くことで、学ぶことや働くことの意義や役割を知り、将来設計を深める機会とする。</p>

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所 (ねらいや指導内容についての教師の捉え方)
本主題は、第2学年の内容項目C(13)「勤労」を基にしたものである。中学校2年生の時期は、これまでの職場体験学習、キャリアガイダンス、進路学習等を通して、将来の職業や自分の生き方について具体的なイメージや目標をもとうとする生徒が増えてくる時期である。夢や希望をもって社会の一員として貢献することが、成就感や充実感、働く喜びや生きがいにつながると考える。そのため、よりよい人生を実現しようとする意欲を高めることが大切であると考え、本主題を設定した。

本主題における系統

<p>中学校第1学年 内容項目C(13)(勤労) 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。 教材名「ありがとう」 主題名「働く喜び」</p>	<p>中学校第2学年 内容項目C(13)(勤労) 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。 教材名「我、ここに生きる」 主題名「勤労から得られるものとは」</p>	<p>中学校第3学年 内容項目C(13)(勤労) 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。 教材名「好きな仕事な安定か悩んでいる」 主題名「将来の自分を見つめて」</p>
---	--	--

生徒の実態（生徒の学習状況や実態と教師の願い）

■学習にあたっての学級及び生徒の様子

本学級の生徒は、元気で仲が良い学級である。進路調査では100%の生徒が進学を考えている。また、具体的な進学先や就きたい仕事を考えている生徒もいる。

■主題に関する意識の状況

質問事項		
①将来、就きたい職業（仕事）がありますか。	ある18名	ない12名
②将来、就きたい職業（仕事）を決める時に大事なことは何だと思えますか。	<input type="radio"/> 自分に合っているか9名 <input type="radio"/> 好きなこと興味のあること楽しいと思えること5人 <input type="radio"/> 人間関係や職場の雰囲気3名 <input type="radio"/> 収入や休日、労働時間3名	
③人は何のために働くのだと思えますか。	<input type="radio"/> 生きるため7名 <input type="radio"/> 豊かな生活をするため6名 <input type="radio"/> 自分のため4名 <input type="radio"/> お金のため4名 <input type="radio"/> 家族のため2名 <input type="radio"/> 人のため2名 <input type="radio"/> 誰かがよりよい生活になるため 1名 <input type="radio"/> 他人を支えるため1名 <input type="radio"/> 国のため1名	
④あなたは、地元で働きたいですか。	はい5名	いいえ25名
はいの理由……水産業があるから。津奈木町のことを知っているから。 いいえの理由……仕事の選択肢が少ない。沢山の人と触れ合いたい。給料が安い。など		

■考察

主題に対する意識調査から、就きたい仕事があると答えた生徒は半数近くおり、具体的な職業を挙げる生徒も多い。就きたい職業がはっきりしていなくても、大半の生徒が興味のある職業を挙げており、勤労に対する意識が高いことが分かる。働く意義については、大半の生徒が自分のために働くという認識で、働くときに誰かを支えていることにつながっているという実感がもてていない。そのため、本授業では仕事を行うことは自分のためにだけではなく、周りの人とのかかわりが生まれ支え合いの関係が生まれること、支え合うことが自らの喜びになること、それが生きがいのある人生につながることを実感させ、生きがいのある人生を実現しようとする意欲を育てたい。

教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）

本教材は、札幌で開業を夢見る医師道下俊一さんが、霧多布の古い病院への勤務を命じられ、誠実な働きぶりに村人たちは感激し、村人たちの熱い懇願に、道下医師が霧多布に残る決意をした思いについて考えていくことを通して、ねらいに迫るものである。

職場体験を経験し、働くことのやりがいや大変さについて学んでいる生徒にとって、道下さんのように赴任先の霧多布の村人を生かし、自分も生きる道を選んだ姿から、働くことの意義や献身的で崇高な人生について考えることができる。

本教材を活用した授業においては、主人公である「道下さん」と自分を重ね合わせた中心発問を行うことによって、仕事に対する生徒の思いとこれまでの体験を重ねながら、勤労の尊さや意義についての考えを深めながら、職業についての正しい考え方を育てたい。

3 指導に当たっての留意点

【①体験活動とつなげた導入・終末】

- 授業の導入では、職業に関するアンケート結果について紹介する。また、職場体験学習やキャリアガイダンスなどから、職業や働き方、自分の生き方について学習してきたことを写真で振り返る。さらに、中学校卒業後の進路について考える時期にきていることにふれ、生徒が本題の主題に関わる問題意識をもてるようにする。その上で、教材に出会わせていきたい。
- 授業の終末では、職場体験でお世話になった方のメッセージを紹介し、まとめにつなげる。

【②「考え、議論する道徳」となる場（ハートつなぎタイム）の設定】

- 登場人物と自分を重ねて考えたことについて、思考ツール（心情メーター）を使って可視化し、友達との意見交流を通じて、勤労の尊さや意義について多面的・多角的に考えられるようにする。

4 人権教育を通じて育てたい資質・能力について

- 自分と友達の考えを尊重しながら、様々な問題解決について協同解決できるようにする。
(②価値的・態度的側面ウ)

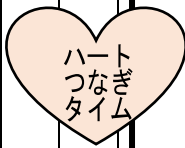
5 本時の学習

(1) ねらい

道下さんの生き方から、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする意欲を育てる。

(2) 展開

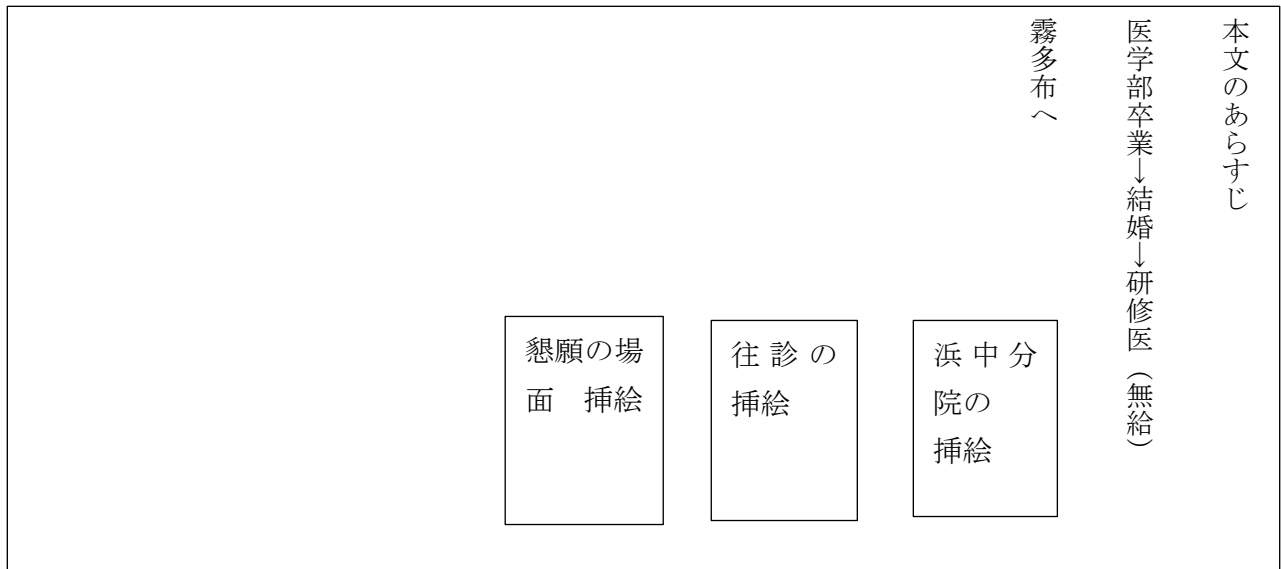
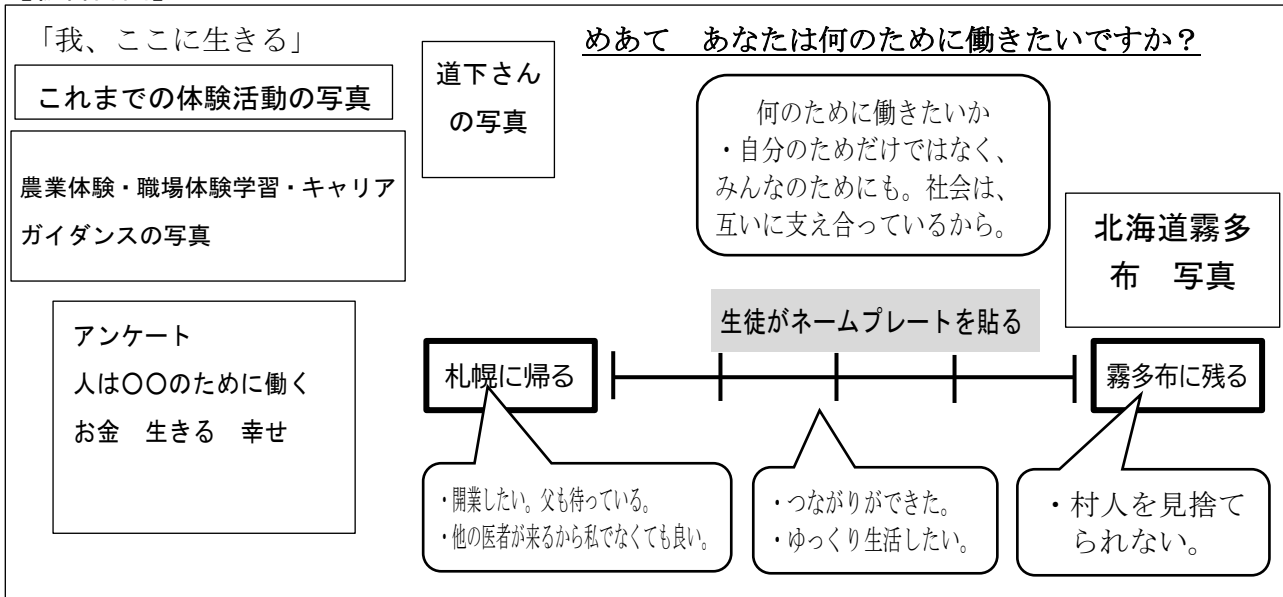
過程	時間	学習活動 (◎中心発問◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、方法等)
導入	5分	1 本時の学習課題を知る。 ○「人は〇〇のために働く」〇〇に入る言葉は何と思いますか。	・職場体験等の体験活動の写真を掲示し、体験や感じたことを想起させる。
【めあて】 あなたは何のために働きますか。			
展開	35分	2 教材を読み、登場人物の気持ちや考えについて話し合う。 (1) あらすじを確認し、道下さんの夢や思いについて押さえる。 ○道下さんの夢は何でしたか。 ◇医学博士になりたい。 ◇札幌で開業したい。 (2) 霧多布に残ると決断した道下さんの勤労観について話し合う。 ○道下さんは、なぜ、任期を一年延長したのだろうか。 ◇村人たちに残るように懇願されたから。	・あらすじを確認しながら道下さんや北海道の写真を掲示することで、北海道の閑村の様子や道下さんの思いを感じ取れるようにする。 ・博士号を取るために、札幌に通って研究を続け、夢をあきらめきれない道下さんの思いを考えると、中心発問につながりやすくする。
		◎あなたが、道下さんだったら、霧多布に残りますか。札幌に帰りますか。 ◇私は札幌に帰る。自分の夢である開業をしたいから。 ◇私は霧多布に残る。村人たちを見捨てることはできない。	・道下さんに自分を重ね、自分事として考え、対話することで、夢を叶える以外の働く意義について、多面的・多角的に考えられるようにする。 ・思考ツール(心情メーター)を使い、自分の考えを可視化することで、互いの考えを伝えやすくする。
		○なぜ、夢を捨ててまで霧多布に残るという判断をしたのだろうか。 ◇自分を頼りにしている人たちを見捨てて、自分の研究や夢だけに生きることはできない。 ○あなたは何のために働きますか。それはなぜか。 ◇自分のためだけでなく、みんなのためにも。社会は、互いに支え合っているから。 ◇社会の一員としての役割を果たすため。	・「何のために働く」に加えて、「それはなぜか」と問い返すことで、勤労の尊さや意義についての考えを深めさせる。
終末	10分	3 学習を振り返る。 ○今までの働くことに対する考えや、今日学習して思ったこと、これらかに生かしていきたいことについて考えよう。 ◇働くとは、自分のためだけでなく、他の人のためにもなる	・振り返る視点(今までは・今日学習して・これからは)を提示する。 ・キャリアガイダンスの生徒の感想を紹介し、余韻を残して終わる。



【評価の視点1】 道下医師の葛藤や決心に共感し、話し合うことを通して、勤労の意義や尊さについて多面的・多角的に考えている。
(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 勤労を通して社会に貢献することの大切さを理解し、自らの生き方について考えを深めている。
(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】



【ICT活用計画】

例：教師による教材定時の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

導入時：職場体験学習、キャリアガイダンス、寒漬大根づくりの様子を提示する。【電子黒板】